

# 東京慈恵会医科大学活動報告

## ◇概略

平成 17 年度に、本学における漢方医学教育の充実を目的に愛宕漢方医学研究会を発足させた。この研究会には各科の責任者が参加し、教育機関である大学としての漢方教育のあり方について、大学や病院の組織を越えた検討の展開が期待できる体制をとっている。

## ◇組織構成

### 1) 愛宕漢方医学研究会

代表世話人 落合 和徳

附属病院副院長・産婦人科学教授

顧問 栗原 敏 理事長・学長

顧問 石川 友章 薬理学客員教授

事務局 法橋 建 総合診療部教授

卒後・院内漢方教育担当

神谷 直樹 産婦人科学教授

### 2) 附属病院総合診療部漢方外来

客員教授 石川 友章

診療医長 萬谷 直樹

リサーチレジデント 古賀 実芳

助手（研究協力） 田部井 功

専門医研修 小林 康隆

荏原 太

森山 義和

長谷川 望

荏原千登里

高橋 英吾

森 恵莉

安田 千穂

## ◇教育と臨床

愛宕漢方医学研究会では、漢方医学の啓発と漢方医学教育を担う人材の育成を視野に入れ、学外から講師を招き学内外を対象とした研究会を年 2 回、学内医師・学生を対象とした勉強会を年 9 回開催している。本年度は症状・疾患別に漢方薬の使い方について解説した。継続して参加する熱心な者には、症例発表などの機会を提供している。また、回数や内容に対する要望や、看護師向けの勉強会の要望もあり、漢方診療の認識と必要性が高まっていることを実感させられる。

一方、臨床実地研修の場として平成 18 年 11 月に漢方専門外来を総合診療部に設置した。初診受付は紹介患者に限定し、週 2～4 回午後のみ診療体勢は変えていないが、患者や他科医師からの

需要に伴い臨時枠を常設している状況である。専門外来担当医師の育成と人材発掘、組織上の問題の解決が早急な課題となっている。処方可能な漢方薬は生薬・エキス剤のいずれも保険適用品のみ、エキス剤は 1 方剤 1 メーカーに限られ、該当部署と交渉中である。

なお、当院は日本東洋医学会専門医制度研修指定施設に登録されており、学内外の医師の見学、症例検討会や勉強会への参加など専門医研修を行っている。

また、皮膚科やペインクリニックは外来に東洋医学治療を導入しているが、今後の連携態勢を検討したい。小児科など他の診療科との連携や悪性腫瘍患者の治療相談も増加している。

このような大学全体の漢方医学教育と臨床・研究を見据え、愛宕漢方医学研究会が中心となり組織編成などについて検討を重ねている。

## ◇学生教育

医学部医学科では、平成 20 年度から従来の講座の枠を越えた教育内容をユニット化したカリキュラム編成がされ、漢方医学は 3 年次に「和漢薬概論」として集中して講義された。講座責任者の落合和徳産婦人科学教授のもと、石川友章薬理学客員教授による「漢方医学」1 講義 90 分×4 講義、北原雅樹麻酔科教授による「痛みと和漢薬」が 2 講義行われた。

## ◇研究

落合和徳教授の指導の下、古賀が漢方診断を用いた西洋医学治療の再評価について臨床研究を行っている。

## ◇学会活動

石川友章客員教授が会頭、落合和徳教授が準備委員長の重責を担った第 60 回日本東洋医学会学術総会は盛会のうちに終了した。大学中央講堂では認知症についての市民公開講座が開かれ、満席の聴衆が熱心に聞き入った。

## ◇論文・原著

- 1) 落合和徳. 婦人科がん 婦人科がん治療ガイドライン策定の背景と今後の動向 総括(緒言). 癌と化学療法, 2009; 36(2): 204 (H21.2)
- 2) 落合和徳. 婦人科疾患の診断・治療 良性卵巣腫瘍の分類と取り扱い. 産婦人科研修ノート.

- 診断と治療社, 東京都. 2009年3月. 453-6.
- 3) 落合和徳. 【臨床医学の展望2009】 婦人科学— 卵巣癌を中心に—日本医事新報 2009 ; 4433 : 55-60. (H21.4)
  - 4) 落合和徳. 卵巣癌治療の個別化に関する基礎的・臨床的研究 卵巣明細胞癌に対するCPT-11とcisplatin併用初回化学療法／後方視的検討. 厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業) 分担研究報告書, 2009 ; 33-4. (H21.3)
  - 5) 落合和徳. がん診療update 各種のがん 女性 卵巣がん. 日本医師会雑誌2009 ; 138 (特別号1) : S267-71 (H21.6)
  - 6) 落合和徳. 子宮疾患・子宮内膜症の臨床—基礎・臨床研究のアップデート—基礎的事項 解剖学・組織学. 日本臨床2009 ; 67 (増刊号5) : 11-7. (H21.8)
  - 7) 落合和徳. 女性のライフステージと医療的課題 婦人科がんのスクリーニング. 日本医師会雑誌2009 ; 138 (5) : 926-8 (H21.8)
  - 8) 落合和徳. Women's Health 更年期症状(障害)の基礎知識. Mamma 2009 ; 62 : 26-9 (H21.8)
  - 9) 落合和徳, 中野 真. 主な臓器別腫瘍マーカー 泌尿・生殖器 卵巣がん. 腫瘍マーカーハンドブック改訂版, 石井 勝編. 医薬ジャーナル社. 東京都. 2009年9月. 209-217
  - 10) 落合和徳. 【婦人科疾患の診断・治療・管理】 腫瘍と類腫瘍 卵巣の腫瘍・類腫瘍 卵巣悪性腫瘍の化学療法. 日本産科婦人科学会雑誌 2009 ; 61 (12) : N637-42
  - 11) Tamez S, Norizoe C, Ochiai K, Takahashi D, Shimojima A, Tsutsumi Y, Yanaihara N, Tanaka T, Okamoto A, Urashima M. Vitamin D receptor polymorphisms and prognosis of patients with epithelial ovarian cancer. Br J Cancer. 2009 Nov 10. [Epub ahead of print]
  - 12) Katsumata N, Yasuda M, Takahashi F, Isonishi S, Jobo T, Aoki D, Tsuda H, Sugiyama T, Kodama S, Kimura E, Ochiai K, Noda K ; Japanese Gynecologic Oncology Group. Dose-dense paclitaxel once a week in combination with carboplatin every 3 weeks for advanced ovarian cancer : a phase 3, open-label, randomised controlled trial. Lancet. 2009 ; 374 (9698) : 1303-5.
  - 13) Yasunaga H, Nishii O, Hirai Y, Ochiai K, Matsuyama Y, Ohe K. Impact of surgeon and hospital volumes on short-term postoperative complications after radical hysterectomy for cervical cancer. J Obstet Gynaecol Res. 2009 Aug ; 35 (4) : 699-705.
  - 14) Okamoto S, Okamoto A, Nikaido T, Saito M, Takao M, Yanaihara N, Takakura S, Ochiai K, Tanaka T. Mesenchymal to epithelial transition in the human ovarian surface epithelium focusing on inclusion cysts. Oncol Rep. 2009 May ; 21 (5) : 1209-14.
- ◇講演
- 1) 古賀実芳, 平成21年1月23日, 愛宕漢方勉強会・第4回「インフルエンザ②症例検討」, 外来B棟6階セミナーA, 愛宕漢方医学研究会主催
  - 2) 古賀実芳, 平成21年3月27日, 愛宕漢方勉強会・第5回「便秘について考える」, 外来B棟6階セミナーA, 愛宕漢方医学研究会主催
  - 3) 古賀実芳, 平成21年4月17日, 愛宕漢方勉強会・第6回「漢方診察法」, 外来B棟6階セミナーB, 愛宕漢方医学研究会主催
  - 4) 古賀実芳, 平成21年5月22日, 愛宕漢方勉強会・第7回「下・脈・腹部所見から診るストレスと柴胡剤」, 外来B棟6階セミナーB, 愛宕漢方医学研究会主催
  - 5) 古賀実芳, 平成21年6月13日, 温知会月例会「漢方処方解説:小建中湯・八味地黄丸」, 温知会, 湯島聖堂
  - 6) 古賀実芳, 平成21年6月25日, 第21回小児腎臓病漢方研究会特別講演「漢方診療の手ほどき」, 小児腎臓病研究会主催, 一ツ橋記念会館学術総合センター
  - 7) 古賀実芳, 平成21年7月12日, 2009東京都女性薬剤師会夏季研修会漢方講座「漢方で考える皮膚—皮膚は口ほどにものをいう—」東京都女性薬剤師会主催, 一橋記念講堂学術総合センタービル
  - 8) 古賀実芳, 平成21年7月17日, 愛宕漢方勉強会・8回「夏ばてについて考える」, 外来B棟6階セミナーB, 愛宕漢方医学研究会主催
  - 9) 古賀実芳, 平成21年9月25日, 愛宕漢方勉強会・第9回「高齢者医療で使われる漢方薬」, 外来B棟6階会議室H, 愛宕漢方医学研究会主催
  - 10) 古賀実芳, 平成21年10月11日, 東京漢方教育センター 2009年度講座「女性の冷え」東京漢方教育センター主催, 早稲田国際会議場
  - 11) 古賀実芳, 平成21年11月13日, 愛宕漢方勉強会・第10回「頭痛」, 外来B棟6階セミナーB, 愛宕漢方医学研究会主催
  - 12) 古賀実芳, 平成21年12月18日, 愛宕漢方勉強会・第11回「冬によく使う漢方薬」, 外来B棟6階セミナーB, 愛宕漢方医学研究会主催
- ◇その他 (取材, 雑誌原稿など)

- 1) 萬谷直樹：「メタボ, 糖尿ワンコイン検診」, 東京新聞, 2009. 1. 26
- 2) 萬谷直樹：「糖尿病ワンコイン検診」, わがままモーニング, ラジオ日本, 2009. 2. 23
- 3) 萬谷直樹：「糖尿病ワンコイン検診」, 土井さとみのヨコハマろはす, ラジオ日本, 2009. 4. 8
- 4) 萬谷直樹：「できる男はワンコイン」, 週刊ポスト, 小学館, 2009. 4. 13
- 5) 古賀実芳：「こんなのって私だけ? ・太れません」 オレンジページムックからだの本vol.3, オレンジページ, p.50, 2009
- 6) 古賀実芳, 「下腹ダイエット」, 日経ヘルス 2009, 8月号, 日経BP社2008, p52-55
- 7) 萬谷直樹：「健診もワンコインの時代に」, 夕刊フジ, 産業経済新聞, 2009. 9. 9
- 8) 古賀実芳, 「インフルエンザは漢方でセルフケア」, 女性自身10月27日号, 光文社, p.141-142, 2009
- 9) 古賀実芳：「日本人の体にあった漢方, 温経湯・防風通聖散・小青竜湯, 当帰飲子」, 「漢方で治すアレルギー」, オレンジページムック自分でできるやさしい漢方vol.2, オレンジページ, p.22-23, 56-57, 76-79, 80-81, 98-99, 2009
- 10) 萬谷直樹：「不調と未病のサイン 冷え性」, ノジュール (JTB), 2009年12月号
- 11) 古賀実芳, スペシャルインタビュー「冬はゆっくり過ごしてエネルギーを蓄えましょう」, 日経ヘルスNo.142, 日経BP社, p50, 2010
- 12) 古賀実芳, 日経BPムック日経ヘルスプルミエ編2010年1月28日号「30の更年期症状に効く漢方薬徹底ガイド」, 日経BP社, p66-73